

### 公共的空間の景観形成のコンセプト

コモンスペースやセットバック空間など、一般に開放される民有地を含めた公共的空間は、まちなみにうるおいやゆとりを与え、良好な景観形成に大きな効果を発揮します。積極的に創出して活用しましょう。

#### コモンスペース

##### ■ 計画

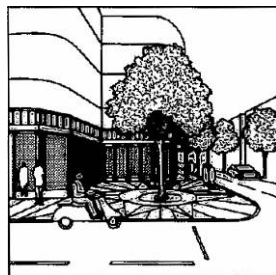
- 開発地をデザインする際は、地域にゆとりと憩いの空間を提供し、その地域の付加価値を高めるようなコモンスペースを設置しましょう。特に公共性のある施設では、積極的に設置を検討しましょう。

##### ■ 配置

- コモンスペースを設置する場合は、沿道に配置しましょう。

##### ■ まちかど

- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。



##### ■ デザイン

- 隣接する敷地にコモンスペースがある場合、新たに設置するコモンスペースはこれと連続するように配置し、一体感のあるデザインとしましょう。
- コモンスペースは市民が気軽にくつろぐことができるよう、塀をなくし、開放感を持たせ、様々な形で水や緑を導入し、また、ベンチ、テーブル、パブリックアート等の設置により都市のうるおいを創出しましょう。



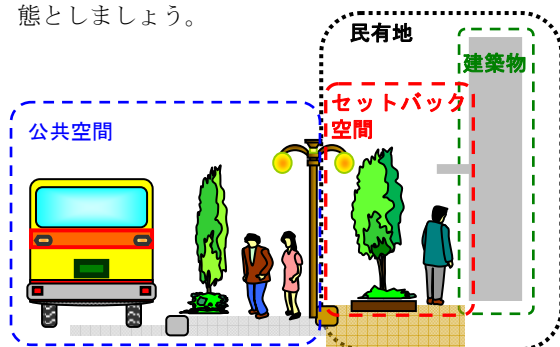
右写真：集合住宅につくられたコモンスペース



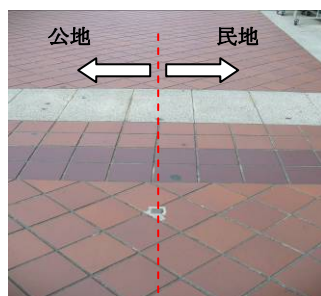
右写真：住宅地開発でつくられた石畳の街区内通路

## セットバック空間

- 通りに対するセットバック（壁面後退）により、空間に広がりを生み出しましょう。歩行者が一休みできる場や、待ち合わせの場を提供し、ゆとりの空間を創出しましょう。
- 集合住宅、商業施設等の大型施設においては積極的なセットバックを行いましょ。
- 敷地に余裕がある場合は歩道状の空地を設け、歩行者への開放感を演出しましょう。その場合、境界の段差等の障害をなくすなど、一体的に利用できる形態としましょう。



- 歩道とそれに連続する歩道状の空地は、舗装素材やパターンを合わせ、また、見た目にも素材感や色調を揃えたり、境界部がわかる目印も最小限のものとして、官民境界ブロックが目立たないようにしましょう。



公地と民地で舗装を合わせると、公共性の高い空間を創出することができます。

- 歩行者等の通行機能が優先される歩道と、歩行者が滞留する空地で空間の機能を分ける場合には、植栽やストリートファニチュアなどで、緩やかに仕切るようにしましょう。仕切りのデザインは、柵や生垣など、堅さを感じさせる壁とならないよう透過性ややわらかなしつらえを工夫しましょう。



右写真：植栽でしきられた歩道状空地の事例

- 商業地等で建物全体の後退が難しい場合は1階部分のセットバックを検討し、歩行者を引き込むような工夫をしましょう。



右写真：1階部分をセットバックし、歩行者を引き込む工夫がされている

- 商業地等で道路面に対し、一壁面が連続するような建物の場合には、柱を生かした回廊状（コロネード）のしつらえや、低層部にオープンテラスの店舗を連続的に配置するなどして歩行空間ににぎわいを創出する方法も考えられます。



右写真：1階部分を回廊状にし、引き込み空間を創出している

- セットバックした空間に、ベンチやフラワーポットなどを配置することにより、にぎわいや楽しさを創出しましょう。



- 敷地内や屋内に通りが出来る空き地を積極的に採用し、地域に新たな回遊性を創出しましょう。